



枝川小だより

「やればできる」を自信に
みんなが笑顔で
まわりの人には感謝を！

本校のサイエンス・サポーター 酒井先生を紹介します

サイエンス・サポーターとは、本市教育委員会の「わくわくサイエンス・サポート事業」に協力し、市内小学校で理科の授業を支援している先生方です。酒井和子先生は、令和4年度より本校を担当しているサイエンス・サポーターです。今年度は9月下旬より年間30時間の範囲で、5・6学年の学習活動をサポートしています。観察・実験の準備や授業支援のほか、理科室の整備が主な内容です。

酒井先生は、ひたちなか市や水戸市などの小中学校で教鞭を執っていた元教員で、その専門性を生かしたサポートで観察や実験の活動が充実し、子どもたちの学びが深まっています。



名前：酒井 和子さかい かずこ

趣味：お城めぐり

<ひと言>

子どもたちがとても素直で積極的に活動しているの、一緒に理科の学習をするのが楽しいです。

脱穀作業を体験しました

9月18日(水)に校舎前の水田で育ててきた稲の稲刈りを行ってから約2週間が経ち、10月1日(火)の午前中、学区内の横山 勝雄さんのお宅で5・6年生が脱穀体験を行いました。

おだかけをして乾燥させた稲を学校から運び、横山さんに用意していただいた脱穀機を使って、交代で一束ずつ脱穀していきました。機械では取り切れない粃は、手作業で一粒一粒大切に稲わらから外して袋に入れました。最後に粃の重さを量ってみると、全部で約5kgでした。粃は後日精米し、給食室で炊飯したご飯をみんなで食べる予定です。



文化芸術体験出前講座で音楽鑑賞を行いました

10月2日(水)の3校時に音楽室において、県の「文化芸術体験出前講座」を活用して実施しました。今回、ヴァイオリンの杉原 佳恵さん、ピアノの中島 朱理さん、トランペットの永井 綾子さんの3名に来校していただきました。ヴァイオリンの杉原さんは、ひたちなか市の出身(田彦小)です。

演奏は、子どもたちにお馴染みの曲も多く、楽しく鑑賞することができました。また、杉原さんには子ども用のミニサイズのヴァイオリンも用意していただき、児童全員が音出しの貴重な体験を行いました。

アンコールでは、本校校歌を演奏していただき、子どもたちも大きな声で歌って締めくくり、約1か月後の全校音楽発表会(11月2日開催)に向けて、よい刺激を受けることにつながりました。



前期『いちよう』の配付について

10月11日(金)に前期の通信票をお子様にお渡しします。7月1日付けのおたよりで、配付方法や確認事項を既にお伝えしております。また、これまでに保護者のみなさまに「学習指導要領における学習評価」のリーフレットを配付しておりますが、その内容をあらためてご確認願います。お手元がない場合は、本市教育委員会のウェブページに掲載されております。(下記から閲覧できます)

https://www.city.hitachinaka.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/232/hyoukar5.pdf